

# 富士市学校給食を考える会

平成28年8月25日(木) 10:00～  
富士市民活動センター

次回 第261回 定例会のお知らせ

9月23日(金) 10:00～

富士市民活動センター

## 第260回 例会 の 報告

### 【報告事項】

1. 平成28年度 第1回 富士市学校給食検討委員会&  
献立作成委員会・物資選定委員会の報告

平成28年7月7日(木) 15:00～ 市庁舎第2委員会室  
参加者：小櫛・保科・増田 (別紙 報告)

2. 「農家の出前授業」・丘小学校にて(富士市学校給食地場産品導入協議会)  
平成28年7月11日に 第1回(渡辺さんのニンジン)が行われました。  
(7月13日・富士ニュースの記事)

3. 「子どもたちに伝えたい食べることの大切さ13」  
親子でクッキング♪ 定番・絶品・給食レシピ ミートソース  
7月31日(日) 10時～13時 (別紙 報告)  
リーダー：保科、増田  
スタッフ：西村、平野、越智、服部、片岡、小櫛

4. 「沼津市学校給食を考える会ニュース」N0.108 (別紙)

5. 「いのちと食を考える集い」10月2日 (チラシ同封)

6. みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい  
(教育研究全国集会 2016 in 静岡)

全体集会・シンポジウム(8月19日)

憲法と教育を語る

～立憲主義・民主主義・平和主義を尊重する社会と教育～

教育フォーラム(8月19日)

8つのフォーラム

分科会：28のテーマに分かれて発表と討論(8月20日・21日)

## 第11分科会「体育・健康・食教育」の中の「食教育小分科会」

8月21日に

“学校給食における「食育」の可能性と問題点”と題して

「富士市学校給食を考える会」の取組を発表しました。

(「富士市学校給食を考える会」で実行してきたこと)

- ・行政と対立しない。・・・現状の良いところを評価し、応援する。
- ・市民として発言できる場を作る。
- ・より良くなるための提案をする。(事前学習、事前視察を通して具体的に提案)
- ・地域の連携を大切に、子どもたちの為の「食育推進」ネットワークを作っていく。

(学校給食の可能性)

- ・1週間に5回、給食を通じて「食教育」ができる。(教育力)
- ・子ども達を中心に置くことで、保護者、生産者、食関連事業者、地域に、良い形で影響を与えることができる。

(食の安心・安全とは)

- ・作る人も作っているところもわかり、人と人のつながりがある。
- ・生産者を支える消費者を育てる。

★同じ分科会で、もう一人「聴覚特別支援学校の食育」の発表がありました。

(以下、抜粋)

- 埼玉県で、幼児から高校生まで115名の通学生の食事と寄宿生の1日3食の食事を提供している。
- 天然アユ1匹を味わう給食、さんま1本給食などで、骨付きの魚を食べさせることによって嚥下機能を育て、魚と触れ合ったり専門家から漁業についての話を聞くことで魚好きの子どもを育てている。
- 6年生が5年生に、魚の食べ方の説明をする。来年説明しなければならない5年生は、真剣に聞く。
- プロのシェフから「食と職」の話を聞き、ホテルのフランス料理を食べる。給食のパンをホテルのお皿にのせたり、給食で出すゼリーをワイングラスに入れて出すと別物になる。(器も大事)

(感想)「見て触って食べて学ぶ」を大切に、「食に関する全体計画」に基づき、個に配慮した指導をしている。それを、学校、保護者、地域、行政の力を借りて連携を図りながら進めているところが素晴らしかった。

(その他、話題になったことの感想)

★PFI方式の学校給食になり、今まで当たり前と思っていたことができなくなったという報告もあり、問題が起こる前から、地域の色々な連携を作っておく必要があることを参加者一同で再確認しました。

★「食教育分科会」の参加者は、ほとんどが各地の栄養教諭でしたが、調理の民間委託も進んでいることが解りました。民間委託で思うように力が発揮できない中でも、子どもたちの為に頑張っている現場職員の方がたくさんいることが嬉しかったです。

★「子ども達のことを考えている市民も沢山います。市民は頑張っている皆さんを応援しています。ぜひ、地域の人に働きかけてください」というメッセージを伝えました。